

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	私たちの黒部ダム！ダムの記憶を集めた冊子作成事業
事業主体 (連絡先)	NPO法人 ぐるったネットワーク大町 (大町市大町 1556 番地 4 TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,425,804 円 (うち支援金 825,000 円)

事業内容

黒部ダム 50 周年を機に、当時建設に関わった 11 人の方
 を取材し、建設を支えたまち大町に残る「くろよんスピリ
 ッツ」を掘り起こして冊子を作成した。(A4 版 40 頁 10000
 部) 作成した冊子は、小中学生、高校生を通じて各家庭に
 配布したほか、成人式や 8 月のやまびこ祭りにおける限定
 カフェ等で配布した。

2 月には建設にまつわる写真パネルの展示と、関係者か
 ら直接お話を聴くミニシンポジウムを行った。

【2/25 開催 参加者 20 人】

事業効果

取材は座談会形式で行い、多くの方に直接話しを聞いて
 もらえるようにし、若手市民がまちの誇りを学ぶ絶好
 の場になった。市内学校へ配布した冊子に入れたアンケ
 ートでは、回収された 1281 枚のうち 90%にあたる 1154
 人から、「くろよんスピリッツを大町の誇りと感じるこ
 とができた」との回答を得た。また回答の多くはこれか
 らの大町についても言及しており、かつての大町を知る
 だけでなく、これからの大町を考えるきっかけとしても
 効果があった。取材を受けてくれた方々には、実際の冊
 子のほかに新聞取材やシンポジウム等でも活躍してい
 ただき、顕彰することができた。

今後の取り組み

子供たちからのアンケートでも「当時の人たちはすごかったが、これからはダムに頼るだけで
 はダメ」という回答が多くあった。今回の冊子作成を経て、今の大町の誇りは何なのか、私たち
 は次の世代に何を残していくのが改めて問われている。現在当会も加わって、今ある大町の資
 源、がんばっている人たちをつなぎ、一体として発信するための事業「信濃大町食とアートの廻
 廊」を準備しているが、この中で、一層のシビックプライドの醸成を図っていきたい。

また、今回学んだことは、当会実施のツアーや学習旅行のガイド内容にも取り入れ、口伝えで
 次世代に伝えていきたいと考えている。



取材を受けてくれた皆さんと、笑顔で完成記者会見

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- 黒部ダム建設を支えたまちとしての
大町の誇りや「くろよんスピリッツ」
を掘り起こす。
- 当時を生き、その後の大町を支えてき
た方々に光を当て、黒部ダム 50 周年
のこの機会に顕彰する。
- 取材に関わったり冊子を読んだりす
る中で、若い市民にシビックプライド
(町への愛着や誇り) を育む。

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある